

旧約聖書講解シリーズ

ヨナ書・ミカ書・

ナホム書・ハバクク書

F・A・タトフォード

Jonah, Micah, Nahum & Habakkuk

An Exposition

by

Fred. A. Tatford

旧約聖書講解シリーズ

ヨナ書・ミカ書・
ナホム書・ハバクク書

フレデリック・A・タトフォード

伝道出版社

Jonah, Micah, Nahum & Habakkuk

An Exposition by
Fred. A. Tatford

Originally published by
Prophetic Witness Publishing House
Sussex, England

Evangelical Publishers
Tokyo, Japan

ヨナ書

前書き	9
はじめに	12
嵐 <small>あらし</small> の中の神（一章1—16節）	22
大魚（一章17節）	43
預言者の祈り（二章）	51
実り多い伝道（三章）	63
最後の教訓（四章）	76
〈補遺〉 復活	91

ミカ書

前書き	115
はじめに	117
恐るべきさばき (一章)	127
墮落した上流階級 (二章)	146
支配階級 (三章)	163
祝福の時代 (四章1節—五章1節)	177
メシヤの時代 (五章2—15節)	193
神の討論 (六章)	207
日陰を通じて日向へ <small>ひなた</small> (七章)	225
〈補遺〉「神」であり「人」であるお方	245

ナホム書

前書き	257
はじめに	259
目覚める正義（一章 1—8 節）	267
よこしまなことを計る者（一章 9—15 節）	278
ニネベを取る戦い（二章）	291
滅亡の原因（三章 1—7 節）	307
成就した神のみことば（三章 8—19 節）	315
〈補遺〉 アッシリヤについて	328

ハバクク書

前書き	333
はじめに	335
預言者の訴え（一章 1—4 節）	344
さばきの道具（一章 5—17 節）	352
神の答え（二章 1—5 節）	366
あざけりの歌（二章 6—20 節）	377
神の顕現（三章 1—15 節）	390
信仰の勝利（三章 16—19 節）	404



ヨ
ナ
書



前書き

ヨナ書は、聖書の他の預言書とは全く異なっている。そのため、ヨナを預言者と呼べるのかどうか疑われることもある。主イエスは確かにヨナを預言者と呼ばれた。主の評価が間違っていることなどあり得ない。確かにヨナ書は、自伝のような語り口で記されており、具体的な預言は二ネベの滅亡に関することだけである。しかも、その預言すら、そのときには実現しなかった。「預言的な要素は、ヨナのことばにはなく、むしろ彼の経験にある」と主張する者が少なくない。彼らによると、ヨナに関する詳細な記録は、イスラエル民族が将来経験することを象徴しているという。

しかし、預言者とは、単に未来の出来事を予告するだけの者ではない（「預言者」という称号が「未来を予告する者」という意味で使われるようになってしまったのは確かだが）。預言を学ぶ者が最初にすべきことは、自分の意識からこの意味をすっかり消し去ることかもしれない。「預言者」のギリシヤ語の意味は、「前もって語る者」ではなく、「他人のために（もしくは、他人に代わって）語る者」である。デルフォイの神託では、「預言者」は神官の称号だった（訳注…デルフォイはギリ

シヤ中部の古代都市。神託で有名なアポロンの神殿があつた。彼らは、巫女みこの神がかり的なことばを受けて、それを人々に説明した。しかし、哲学者プラトンは、「これはこの単語の誤用である」と言っている。預言者とは、靈感を受けた者自身のことであり、神と交わり、神に代わって直接語る者のことだという。それゆえ、詩人ピンダロスは預言者テイレシアスを「預言者」とか「ゼウスの通訳」とか呼んでいる。プラトンも詩人たちを「ミューズの預言者たち」と呼んでいる（訳注：「ミューズ」はギリシヤ神話の女神たち。詩歌・音楽・芸術などをつかさどる）。私たちは、この意味において、旧約聖書の「預言者」のことを考えなければならぬ。旧約の預言者は「神の代言人」だった。アモス書に記されているように「神のはかりごと」を示された預言者は、神のことばを携え、それを説く者となるのである。

未来を予言することは、預言者の職務の一部にすぎず、しかも、副次的、付随的なものである場合が多い。その最大の任務は、神のご性質とそのみこころを告げることである。しかし、預言者は、体系的、理論的な形でそうするのではない。啓示を逐一述べ、歴史のある状況や人々のある側面について明らかにするのである。彼は、体系的な教えを持った哲学者でもなければ神学者でもない。神の民のいのちや行いが危機ひんに瀕している際に、神から遣わされる使者であり、伝令である。そのメッセージは、必ず、実際の出来事に関連している。その出来事は、預言者が語ることの主題になったり、証拠になったり、さばきの内容になったりする。